

大槌町教育委員会だより



檮こずえの梢けやきから



大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！



大槌高校HPやnoteでも学校生活の様子を発信しています！

学びは楽しい～児童生徒実践発表会・全体研修会

おしゃっちで1月25日(木)、令和5年度の「ふるさと科」や「三陸みらい探究」の取り組みの発表、町を代表して視察研修した先生の皆さんの報告、そして年末に上映会を行った映画『みんなの学校』のモデルとなった大空小学校初代校長の木村泰子さんの講演会を行いました。児童生徒の発表では、大槌学園5年生による「イトヨ」や、吉里吉里学園6年生の「鮭」など、大槌町がずっと大切に守ってきた自然にまつわる学習の成果を、各学園で工夫して発表しました。大槌高校の飛田冨英さんによるマイプロジェクトの発表は「対話」をテーマに、大人もいろいろと考えさせられる内容を堂々と伝えていました。木村さんの講演では、映画の後日談や、今なお、教育や子どもたちに対する熱い思いを持って精力的に活動されていることなどをお話いただきました。木村さんは「(発表した)子どもたちの姿から、大槌町は地域全体で子どもを育てていることがわかる」と、今回の発表会を講評いただきました。これからもみんなで目指す「大槌の教育」に向かって、子どもだけでなく教員も学び続けますので、応援をよろしくをお願いします！



参加した皆さんからの感想

- 自分たちが住んでいる町を愛し、町について学ぶ姿、そして園の時と比べ、本当に大きく成長した姿に感動した。私自身も子どもを育てる立場から、今後もっと大槌の魅力について伝えていきたいと思った。(保育関係)
- 小学生の皆さんの学びの成果に、大変感動した。大槌の地域で学んだことがきっと子どもたちの心に残るものになっているのではないかなと思う。そこから成長した高校生の発表も大変頑張っていた。0歳から18歳の学びが連続的に成長につながっているのだろうと感じた。(高校職員)
- 学びの目的は「その子がその子らしく育つこと」という言葉が印象に残った。自分もできないことばかりに目を向けるのではなく、無理な時は先輩たちの協力を仰ぐ姿勢が大切だと学んだ。(教員)
- 日ごろの子どもへの接し方、言葉かけ、教育観についてハッとさせられる内容だった。子どもが主体となることが重要であることを頭では理解していても、振り返ってみるとこちらの都合で無意識に教師主体になっていることがあるのではないかと猛省させられた。(教員)
- さまざまな新しい視点をいただいたが、特に「学校のキャパを広げる」という視点がとても共感できた。「特別」という枠で多様な生徒の枠を確保するのではなく、今ある「学校」の枠を広げて全ての子どもが自分らしくいることができる場所をつくりたい。(教員)
- もう一度、どんな子どもたちの姿を目指していくのかを、もっと具体的に、もっとはっきりと、みんなで見つけたい。今、自分の中では、それが明らかでないで、迷うことが多い。講演会は勉強になったし、そしてたくさんの方を考えた。終わってから同僚と「答えのない問いについて」議論をした。そのようなきっかけを作っていただけてありがたかった。(教員)

私が18年間で身につけた“大槌”(ハンマー)

これから新しいスタートをきる3年生。

変化の激しい社会であっても、大槌で育った18年間で身につけた自分の強み(ハンマー)を糧に、前に進んでいけると信じています。3年生が大きな成長を遂げたのも、多くの地域の皆さんの温かいご協力のおかげです。18年間、ありがとうございました。

18年間で身につけた“大槌”(ハンマー) **プロデュース力**

文化祭やクラスマッチなどの学校行事でみんなの役に立つようなアイデアをだすことや、部活動でキャプテンをつとめ部員をまとめるという力です。この力を身につけてからは自分に自信が持てるようになり、積極的に行動できるようになりました。

18年間で身につけた“知見”(学び) **失敗は成功のもと**

自分の失敗を認めて改善すれば、成功に近づくとという意識の言葉です。私は人よりネガティブ思考で落ち込むことが多かったのですが、この言葉を知り、ポジティブに考えられるようになりました。

あなたの大槌はきっと誰かの役に立つ！
菊地 喬花 さん

18年間で身につけた“大槌”(ハンマー) **3つの目～多角的視点～力**

3つの目とは、それぞれ、鳥、魚の目を表しています。鳥の目は深く見る力、魚の目は斜めに見る力、両の目を併せて見る力、多角的な視点から自分の中での最適解を見つけたり、偏見をなくしていく力です。

18年間で身につけた“知見”(学び) **探究活動とは自分を知る1つの手段であり、たくさんな視点を持つことが大切である**

最初は関係がないことでも掘り進めようという意識がゲームのように目標のあるものの中にも見られるものが見つけられる。そのためには、1つのことに対して様々な角度から関わっていくことが必要になってくるということ。

あなたの大槌はきっと誰かの役に立つ！
岡本 知己 さん

18年間で身につけた“大槌”(ハンマー) **アンチ人見知り力**

人見知りとは、初めての人と話すこと、大勢の人がいる所を苦手とする人です。アンチは反対、拒絶などという意味があり、私の力は人見知りに対して拒絶があるということになります。中学の時から剣道の大会などで知らない人と関わる機会が多くなり、マイプロを通して地域の方々と関わっていき初対面の人とも気軽に会話ができるようになっていきました。

18年間で身につけた“知見”(学び) **会話は言葉のキャッチボール**

キャッチボールとはボールを投げたり、受けたりする遊びです。会話は言葉を投げたり受けたりすることからこの知見をつけました。また、キャッチボールは相手に向かってボールを返しますが、会話も意図に沿って返すことから似ていると思いました。中学の時二人との会話で自分勝手な会話をしていて会話が成り立っていないことに気づき、キャッチボールだと考えました。

あなたの大槌はきっと誰かの役に立つ！
佐々木 康太 さん

18年間で身につけた“大槌”(ハンマー) **たゆ 弛まぬ努力**

私は小学生からバレーボールを続けたことでチームワークやコミュニケーション力が身についたと思います。

18年間で身につけた“知見”(学び) **Live my own way**

私は小さい頃から人見知りや自分のことを隠すことが苦手で、でも、中学校や高校で地元の人と関わる中で自分のことを表せるようになりました。将来、精神保健福祉士という職業に就くためにこれから先色々な人と関わる中で自分自身のことを知って、自分らしく生きることができるようになりたいと思います。

あなたの大槌はきっと誰かの役に立つ！
千葉 遥香 さん

18年間で身につけた“大槌”(ハンマー) **忍耐力ぶっ壊れのウミガメ力**

ゆっくりでいいから自分自身の目標に向かって毎日コツコツ努力し続ける力のこと。また、名前の由来は、ウミガメはゆっくり泳ぎながらも10000km以上という長い距離を泳ぎ続ける忍耐力と自分が目標に向かって努力する様子を重ねたことから。

18年間で身につけた“知見”(学び) **人生において大切なことは、仲間を持って支え合い、時にはリーダーになって仲間を導くことである**

これからは誰でも集団で行動しなければならぬ時代が必ず来るので、グループのリーダーになり、仲間を導く存在になる。

あなたの大槌はきっと誰かの役に立つ！
小澤 優宇 さん



「はま留学」の1期生が卒業します！

3年間お世話になりました。1期生で不安もありましたが、地域の人の応援がなかったら、ここまで頑張ってもらえなかったと思います。初めて親元を離れて生活しましたが、地域の皆さんが身内のように接して下さり、優しい言葉をかけていただいたことが支えになりました。4月には大槌を離れてしましますが、ここでの生活を励みに進学先でも頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました！



もとえ さら **本江 紗羅** さん